



各位

上場会社名 ケイティケイ株式会社
 代表者 代表取締役社長 伊藤 主計
 (コード番号 3035)
 問合せ先責任者 常務取締役管理部長 木村 裕史
 (TEL 052-931-1881)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年6月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年8月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成23年5月21日～平成23年11月20日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,388	6	20	8	2.38
今回修正予想(B)	4,196	△14	1	△3	△0.92
増減額(B-A)	△192	△20	△19	△12	
増減率(%)	△4.4	—	△91.8	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年5月期第2四半期)	4,345	23	37	13	3.80

修正の理由

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響を受けたサプライチェーンや社会インフラの復旧に伴い、緩やかな回復基調にありましたが、企業の慎重姿勢を背景に回復ペースは鈍化してきております。一方世界経済は、欧州の財政不安や米国の景気回復の遅れにより、先行き不透明な状況で推移しました。

こうした経済情勢にあって、当社グループを取り巻く経営環境は、企業の継続的なコスト削減意識、景気停滞による消耗品の買い控えの影響等を受けており、主力商品であるリサイクル商品(リパケットナー)は、販売本数が前年同四半期比9.7%と前年の販売本数を下回り、売上高も減少いたしました。OAサプライ商品は、新品トナーカートリッジ並びに紙製品のPPC用紙及びオーダー用紙の販売量が落ち込み、売上高は減少いたしました。その他においては、当社独自のWeb購買システム「ケイティケイ はっするネット」の推進に伴い一般事務用品の販売が好調であったことに加え、電化製品の売上増により売上高は増加いたしました。IT商品は、一部で企業のIT投資抑制の影響を受けるものの、セキュリティ関連商品、DR(ディザスタリカバリー)関連商品が好調で売上高が増加いたしました。

これらの結果、当第2四半期累計期間の個別業績につきましては、売上高は4.4%減少の4,196百万円、営業損失は14百万円、経常利益は91.8%減少の1百万円、四半期純損失は3百万円と前回発表予想を下回る見込みであります。

なお、当第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、連結子会社の株式会社アイオーテクノの生産効率化等による収益力改善効果により、業績予想の変更はありません。

また、第4四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、収益性の高いIT商品が堅調に推移していることと、引き続き「ケイティケイ はっするネット」のFC(フランチャイズチェーン)展開を推進し、主力商品としてのリパケットナーの拡販を推進することで、連結、個別ともに前回発表予想の範囲内に収まるものと判断し、変更はありません。

以上